

ふじしろ政夫と共に県政・市政を変えよう

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース11年1月号
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL&FAX 047-445-9144
E-メール masao.fujishiro@zc.wakwak.com ホームページ <http://e-kamagaya.com/>



市議会議員
ふじしろ政夫

県政を市民の手に！ 変えよう県議会

希望のある未来

新しい年を迎え、“希望のある未来”を描いていきたい思いです。

2008年のリーマンショックによる世界的不況。「競争こそが正しい」と言いつづけた新自由主義の社会が崩壊しました。(この10年間で勤労者の給与と収入は累積100兆円減らされました。3人に1人が不安定な非正規雇用)2009年8月30日には人々は新しい社会、新しい経済、新しい政治を求め政権交代させました。でも、いまだに“希望の構想”が提示されません。

“地域主権”“市民自治”市民一人一人が自らの手で自分達の街を、県を、国をつくっていくことこそ2011年の方向。悲しみの分ちあいの「公共サービス」をつくりあげる時です。例えば、介護労働を正に評価し、新たな福祉産業として構築していく必要があります。又新たな知識産業をつくりあげる為にも、今の様な「経済格差＝教育格差＝社会格差」の教育のあり様を根本的に改革し、一人一人の自立した個人の尊厳を十分尊重した教育をつくりあげなければなりません。「市政＝県政」の視点で、千葉県政に“希望の未来”



清水聖士はふじしろ政夫さんを応援しています。鎌ヶ谷市がより良い街になるためにふじしろさんに県政の場で思いっきり働いてくれるよう願っています。

清水聖士(鎌ヶ谷市長)

をつくりあげたいです。

「市政＝県政」の視点で県議会へ挑戦

船取線トレーニングセンター前の歩道は県の事業として改修工事がおこなわれました。危い、デコボコ、狭い県道の歩道を整備するのは県です。県道に街路樹を植えて、美しい街なみをつくれるかどうかは県の決定。鎌ヶ谷市の街づくりには県政が大きくかかわります。でも市民の声がとれているとは思われません。市民・県民税で市民の皆様が払った40%は県にいらっています。1兆5000億円の1年間の予算の内容もよく見えてこない。……おかしい、議員もいるはずなのに。ふじしろ政夫は県議会へ挑戦し、県議会を変えていく決意です。

12月議会で議論されたこと

☆寄附で新鎌・横断橋整備へ

実施計画(平成26年の計画)で整備が予定されていた新鎌ヶ谷駅北口横断橋を早期に設置する為に小川治氏よりその整備費51,839,000円の寄附の申し出あり。平成23年12月31日に供用開始ができるように工事を開始することとなりました。



横断橋をつくることで東武鉄道改札東口ロータリーから西口への歩行者の回避路が確保することができるようになります。

寄附者もこの橋によって自ら所有する西口の土地の有効利用が促進されることとなります。

☆鉄建機構の剰余金を北総鉄道へ

鎌ヶ谷市議会は「北総鉄道785億円の長期債務軽減の

為、独立行政法人鉄建機構の1兆3500億円の利益剰余金を活用するよう「国へ要望する意見書を出しました。千葉県議会も、東葉高速鉄道と北総鉄道の債務軽減に活用するよう意見書を出しました。新鎌ヶ谷から西白井が290円という異常に高い運賃を正常にする為にあらゆる方法で声をあげていきたいものです。

☆「みんなで考え実行する行財政改革」

—平成23～27年度行財政改革推進計画—

平成23年度以降の行革は、「行政評価」「事業仕分け(H23年度実施)」「パブリックコメント」を導入し①財政効果5億円以上、②経常収支比率95%以下、③財政調整基金17億円以上、④建設地方債残高120億円以下を目安として策定することです。

常に行革をしなければならぬのは当然としても、“行革体質をどう仕組みとしてつくっていくか”が問われています。

ふじしろ政夫の一般質問

☆子ども医療費助成

—千葉県は中3まで検討中—

どうして鎌ヶ谷市は300円負担で柏市、船橋市は200円なの？

乳幼児医療費助成が9月議会でこれまでの就学前までから小学校3年までに変わり「子ども医療費助成」となりました。千葉県の事業として



“小3まで、所得制限あり、自己負担300円”をそのまま鎌ヶ谷市は採用して

条例化しました。各市の状況を見ると、200円、0円の自治体が54市町村のうち40団体、所得制限なしが54市町村のうち47団体、鎌ヶ谷市の助成が最も悪い条件です。今後どうするか質問しました。県の動向をまたずに検討を始めるとの答弁がありました。

子育て支援としての子ども医療費助成

健康福祉部参事：子ども医療費助成の目的は、子ども保健対策と、子育て支援対策の充実にあります。

対象者は9550人

健康福祉部参事：今年度小学3年生まで拡大し対象は9550人になります。予算額1億5716万円の1/2 7858万円が鎌ヶ谷市の負担です。

200円にすると774万円の負担増です

ふじしろ市議：自己負担200円あるいは0円の自治体が54のうち40自治体。鎌ヶ谷市は300円を200円にすべきです。

健康福祉参事：200円とすると774万円の負担増になり財政状況を勘案すると県との連動が望ましいです。

“所得制限なし、300円を200円へ”検討します

ふじしろ市議：市長の公約は“子育て世代が安心して暮らせる街”です。

県に従うのではなく、鎌ヶ谷市独自の子育て支援として所得制限をはずすこと、200円、0円にすることを検討すべきです。

健康福祉参事：今後中学3年まで拡大との県の動きもありますが、“200円、所得制限なし”を検討します。

☆洪水対策

千葉県事業(大津川、大柏川整備)の
早期実現を！

12月3日の豪雨によって床上8、床下21以上の被害が発生。30年～40年間いつも大雨のたびに、床上、床下浸水の心配をしなければならない地区があるのは問題です。質問しました。対策として①河川整備②地域排水整備③保水機能の増進が市の方針として示されました。

千葉県は「河川整備計画」をつくり、真間川～大柏川、大津川の河川治水事業を展開していますが、実現が遅いため上流の鎌ヶ谷市の整備が遅れ対策がとれない状況です。県の事業推進を市民の声として県へ通していく必要があります。

浸水面積3.3ha減少を目標

都市部長：平成27年までに浸水面積3.3ha(2.6%)を減少させます。住民がどのくらい安心できるか分かりません。

浸透枳で5mm/hの効果

ふじしろ市議：全市に浸透枳を設置するようにするとどの位の効果ですか

都市部長：1時間あたり5mm程の浸透効果です。

馬込沢地区は138件の洪水被害

都市部長：この10年間に床上46件、床下92件、計138件の被害で、全市284件の約半分が馬込沢地区で発生しています。

バイパスは上流部に効果なしか？

都市部長：平成16年度完成した牡鹿台ハイツまでの二和川バイパスでは、上流部への効果は限定的です。

早期に計画をたてます

都市部長：実施計画にありませんが、馬込沢駅に向う上流部の洪水対策計画を早期にたて、船橋市と協議します。

県事業・大柏川 大柏川第二調整池の必要性

都市部長：上流部(二和川)の河道整備を可能とするには第二調整池、大柏川の県事業の整備が必要です。

南初富5丁目、貯溜池で解消へ

都市部長：南初富5丁目の1m以上の浸水に対しては大津川・長谷津水路の整備が必要ですが早期に雨水貯溜池をつくり1時間30mmの雨に対応していきます。被害が大きく解消できると思われます。



「市政＝県政」

Q & A

ふじしろ政夫に県政の課題について語っていただきました

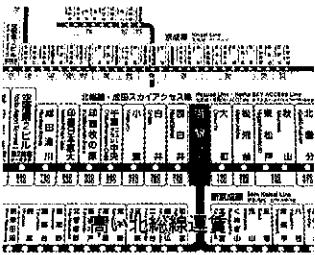
Q 北総鉄道の運賃値下げは どうしたら実現できますか？

A 北総鉄道の高砂～新鎌ヶ谷間二期線工事で1141億円の費用がかかりました。新幹線仕様で成田スカイライナー対応の工事です。この債務を北総線沿線の利用者に負担させて異常な高額運賃（新鎌～西白井290円）が設定されています。

成田空港線の開通で、京成電鉄から北総線へ支払うこととなった線路使用料の不合理性（タダ乗り同然）を正していくことが是正への一歩です。（京成タダ乗り訴訟がおこされました）

又、今回鎌ヶ谷市議会、千葉県議会での意見書のように、鉄建機構の1兆3500億円の利益剰余金を北総の長期債務返済にあてることも一つの方法です。

千葉ニュータウンの事業の失敗（36万人→8万人）の責任、国の空港政策からも県・国の応分の負担が必要なのではないかと思えます。普通の運賃にして市民が使いやすい北総線にし、広域交流拠点としての街づくりをしていきましょう。



Q 安心して看てもらえる 地域医療は？

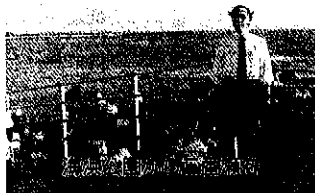
A 医師不足、看護師不足と医療制度改革による医療費抑制政策により、地域医療がこわされて久しくなります。皆保険制度を守り、高度医療とかかりつけ医・訪問診療と介護福祉がトータルにケアされる地域医療（福祉）をつくっていく必要があります。小児救急が整備されていない鎌ヶ谷市（夜間小児科医が看ってくれるのが週1回のみ）は、自からの東葛南部医療圏、となりの印旛医療圏、東葛北部医療圏の医療圏どうしの医療資源を連携して活用していく「千葉県の保健・医療計画」をつくっていく必要を感じます。計画策定に、市民が

参加していける仕組み。更に市民と医療当事者が共に地域医療をつくっていく協議会が必要です。鎌ヶ谷市民の声がとおる県議会、県政にすることで、107000人鎌ヶ谷市民一人一人が大切とされる地域医療をつくっていきましょう。



Q 三番瀬埋立の危機が あると聞きますが？

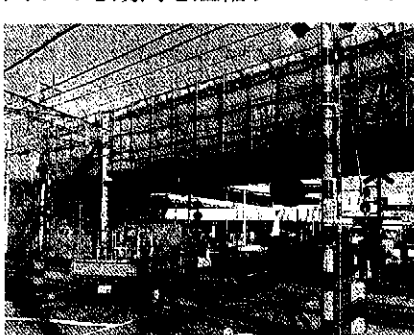
A 647種類の生きものが生息する三番瀬は、1800haの湿地として、ラムサール条約を登録する条件が整っています。船橋市は市長も漁業協同組合もラムサール条約登録に賛成ですが、市川市側の二つの漁協は反対で、人工干潟を猫実川河口につくるよう県に要望している状況です。森田知事は、これまでの三番瀬再生会議を2010年12月をもって終了してしまいました。県議会で採択された人工干潟は、堂本知事が2001年に白紙撤回した埋立101hの部分そのものです。それは第二湾岸道路計画の場所と一致しています。埋立の危機が少しずつできています。世界的にも貴重な三番瀬の生物多様性、渡り鳥の中継地、を十分に活かした“海を活かした街づくり”こそ東京湾最奥部の街づくりだと思います。一日も早くラムサール条約登録をして持続可能な生態系ネットワークをつくっていききたいものです。



Q 新京成の高架事業は いつ完成するの？

A 現在行なわれているくぬぎ山～大仏間3.257km高架事業、最初の手定では平成22年度完成の手定でしたが、用地買収などの遅れからあと10年間の工期が必要とのことです。総事業費350億円（これまで150億円を使っています）国・県・市で90%負担、新京成が10%負担、事業主体は千葉県です。

事業主体の千葉県東葛飾地域整備センターに尋ねたところ、これからの10年間は工事の工期として設定されているとのこと。財政的により多く投入しても期間を短縮するのはむずかしいとのこと



です。とはいえ、一日も早く工事を推進し完成できる方策を、新京成・県・市との間で話しあってほしいものです。

生きていてもいい・生きやすい社会

— 自殺と貧困から見てくる日本 —



いのちのフォーラム主催で香山リカ、清水康之、湯浅誠によるシンポジウムが催されました。

香山氏は「互に助けあう、いたみを分かちあうといった空気が、昨年から今年にかけて少しづつなくなりつつあるようです」と弱肉

強食の風潮の復活への注意を促しました。

湯浅氏は、年末年始の公設派遣村、ワンストップサービスでは十分に対応しきれない。通年での対策の必要性を感じ『パーソナルサポートサービス』を模索していると語りました。

又、雇用保険カバー率が23%（77%の失業者には雇用保険なし）だが、これまでは家族・企業によってこの不足分がカバーされていたが、今はなくなってしまっている。制度を太くすると共に“よりそい支援”“伴走支援”といった細かなサービスの必要性を指摘しました。

とりこぼし社会から全員参加の社会=生きやすい社会へ。

そして、可哀相ではなく、社会的問題として、自からの問題としてとらえかえす大切さを示しました。貧困・自殺への支援活動に対する一部の人からの「まずは景気を回復させ、その後に対応すればよい」との批判に対して、ライフリンクの清水氏は、自殺者を出してしまう方が流出利益が大きいんですと説明しているとのこと。湯浅氏も、保育・介護の例を出し、きちんと支援しきれれば、生涯収入が2億2000万円も失われないうと、支援の有効性を説明していると語りました。

貧困、自殺の課題に社会全体で働きかけることは社会全体の利益ともなることが明らかになりました。

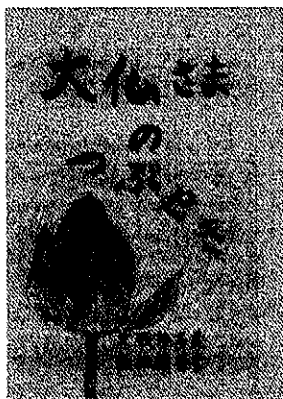
自殺へとおいつめられない、とりこぼされない、生きやすい社会をつくりましょう！

※鎌ヶ谷市は、“気づいてつなげる 命の絆”カービ君パッチで、自殺対策を推進



カービ君パッチ

《紹介》『大仏さまのつぶやき』



東中沢の西井さんは鎌ヶ谷大仏が皆んなから愛されるよう…「大仏さまのつぶやき」というお話をつくり一冊の本にしました。手書きの心あたままる本です。絵は仙台のお兄さまに描いていただいたそうです。「どこの仏様もじっとそこにいて、人々の幸せを守っていてくれるんだよ」ということばにひかれ大仏さまに会いに行きたくなりました。

市民のこえ

がんばれ！ふじしろ政夫

●鎌ヶ谷に住んで12年が過ぎました。市の発展と自然保護は反比例するものなのでしょうか。住んでいて改善して欲しい問題がたくさんありますが、その多くは県に関わる事です。市民の声を県に届けて欲しい、私は藤代さんにその思いを託したいと思います。
戸部光枝（東中沢）

●市の事業や施策等の多くは県と関わりがあります。2期8年間市議として、開かれた市政と開かれた議会の実現に取組み、市民目線で活動し、情報を発信してきた「ふじしろ政夫さん」。今度は県政の情報を鎌ヶ谷市民に！
山下昭子（南鎌ヶ谷）



●“信なくば立たず” 古人の言葉です。

民の信頼がなければ国家の保持は危ういと云うことでしょうか。

民の信頼が行き着く処は、市民参加の自治と公の情報公開に尽きると思います。

ふじしろ政夫さんは、まさにその事を目指して活動されてこられました。更なる前進のため、ふじしろさんには一段高いステージでの活躍がふさわしいと思います。

ふじしろさん！現実を踏まえつつも、高邁な理想を掲げ、若者達の未来への希望の道を拓いてください。 澁谷和太利（東道野辺）

◆最近の市議会での私の質問に対し、「県道船取線の歩道確保率は30%台（北部）」との答弁に、その“怠慢”に怒りを感じました。藤代さんが県議となり、県一市の連携でこうした問題を解決してほしいと期待しています。

津久井清（鎌ヶ谷市議会議員）

ふじしろ政夫事務所開きのご案内

県議会への挑戦。準備を一步一步すすめています。事務所開きを行いたいと思います。お忙しい事とは存じますが是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1月23日（日） 10:30～

南初富6丁目2-18（茂野製麺さんとなり）

お知らせ

※「自治体における市民・議会・首長」

福嶋浩彦さん講演 500円

2/13(日) 14:00～ 白井文化会館ホール

☆「世界経済の中での日本・千葉県経済の方向性」

小澤慶和教授講演

—ふじしろ政夫県政・市政報告会—

1/29(土) 13:30～ まなびいプラザ

☆津久井市政報告会

2/6(日) 13:30～ まなびいプラザ

□法律弁護士無料相談 要予約 ふじしろ市議まで

1/22(土)、2/19(土)、3/19(土)、4/30(土) 13:00～

□音楽会 毎週金曜日 13:00～ トライ事務所